

スラブ配筋標準図

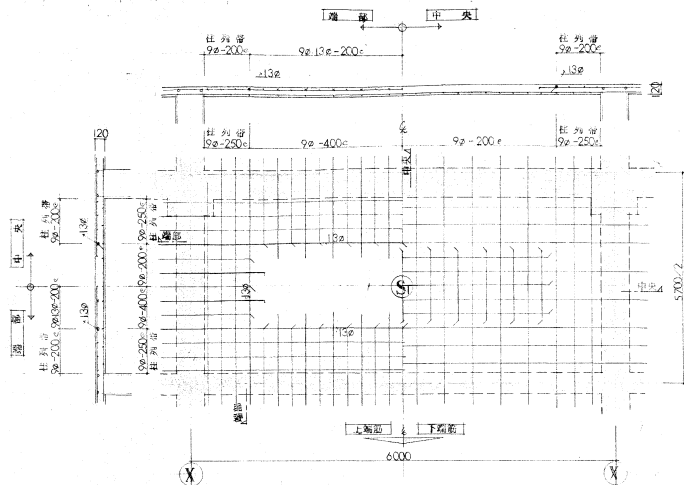
※（官公庁）工事にあたっては、国土交通省大臣官房官庁官繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）記載事項を優先する。

1. 基本事項
- (1) 特記なき場合、1階の土間スラブは、右下の土間コンクリートの仕様による。 (4) 無収縮コンクリートの仕様は下記による。
- (2) 特記なき場合、1階の構造スラブの地業は、砕石 $t=120$ とする。
この場合、防湿シート、断熱材の仕様は意匠図による。
- (3) 特記なき場合、耐圧版の地業は、敷砂利 $t=60$ 、均しコンクリート $t=50$ とする。
- ・設計基準強度 $F_c=24\text{N}/\text{mm}^2$ スラブ 18cm
・膨張混和剤を使用し、調合はセメント量の10%程度、混和剤の分量を必要セメント量から差し引くこと。
・単位セメント量 $270\text{kg}/\text{m}^3$ 以上、単位水量 $185\text{kg}/\text{m}^3$ 以下とする。

既存スラブリスト

既存床配筋図

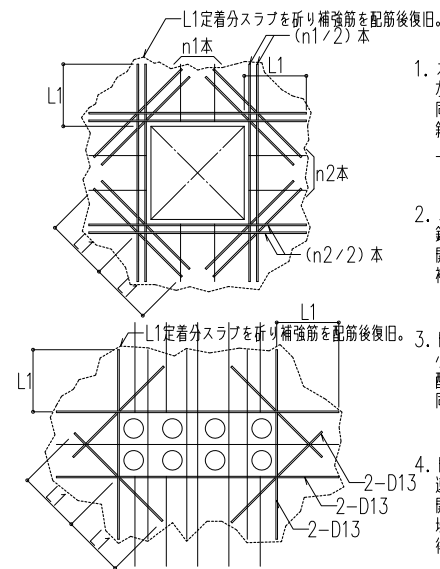
床版配筋表（1F床スラブ下、敷砂利60以下）									
取付号	取付位置	短辺方向	中央	柱列側	短辺方向	中央	柱列側	取付位置	取付位置
S1	上層部	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	下層部	9φ-200φ
S2	上層部	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	下層部	9φ-200φ
S3	上層部	13φ-200φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	13φ-200φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	下層部	9φ-200φ
S4	上層部	13φ-200φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	13φ-200φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	下層部	9φ-200φ
S5	上層部	13φ-200φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	13φ-200φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	下層部	9φ-200φ
S6	上層部	13φ-200φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	13φ-200φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	下層部	9φ-200φ
S7	上層部	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	下層部	9φ-200φ
S8	上層部	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	下層部	9φ-200φ
S9	上層部	13φ-100φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	13φ-100φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	下層部	9φ-200φ
S10	上層部	13φ-150φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	13φ-150φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	下層部	9φ-200φ
S11	上層部	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	下層部	9φ-200φ
S12	上層部	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	下層部	9φ-200φ
S13	上層部	13φ-200φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	13φ-200φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	下層部	9φ-200φ
S14	上層部	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	下層部	9φ-200φ
S1A	上層部	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	下層部	9φ-200φ
S1B	上層部	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	9φ-13φ-200φ	9φ-200φ	9φ-200φ	下層部	9φ-200φ



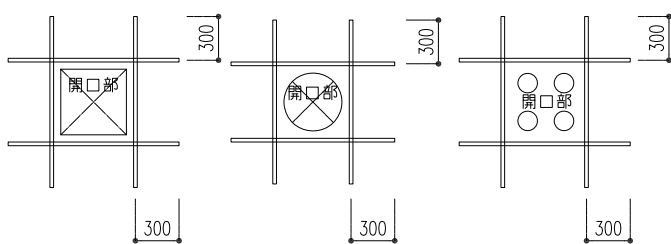
開口補強（特記がなければ下記による。）

- (1) 150φ以下
・無補強とする。
・コア抜き前にRCレーダー等で鉄筋探査を実施し、極力鉄筋を切断しないこと。

- (2) 150<開口寸法<500
・在来工法による補強もしくはCFラミネット工法による補強とする。
・在来工法による補強を下記に示す。



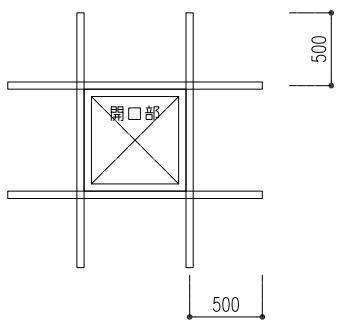
- ・CFラミネット工法による補強を下記に示す。
・CFラミネット工法にて片面補強すること（接着樹脂はF☆☆☆☆とする）。
・鉄筋切断面には防錆処理をすること。



※（官公庁）工事にあたっては、国土交通省大臣官房官庁官繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）最新版記載事項を優先する。

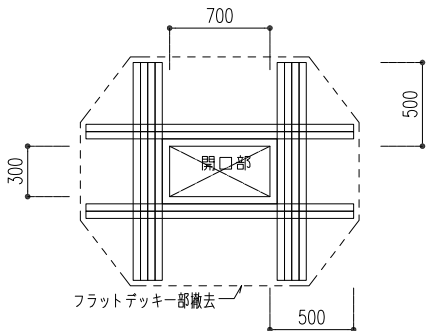
- (3) 開口寸法 ≥ 500 （但し、監理者に確認の上、使用すること）

- ・eプレート（三菱樹脂（株）同等品以上）、GM520（接着樹脂シーカデュア30、F☆☆☆☆）にて片面補強すること。

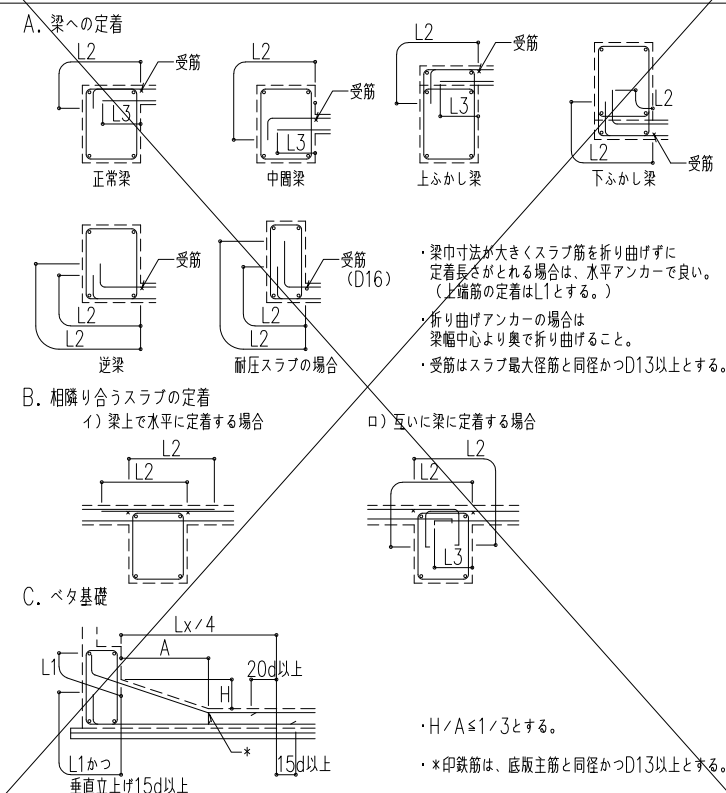


F棟 屋上空調機械室 床開口補強

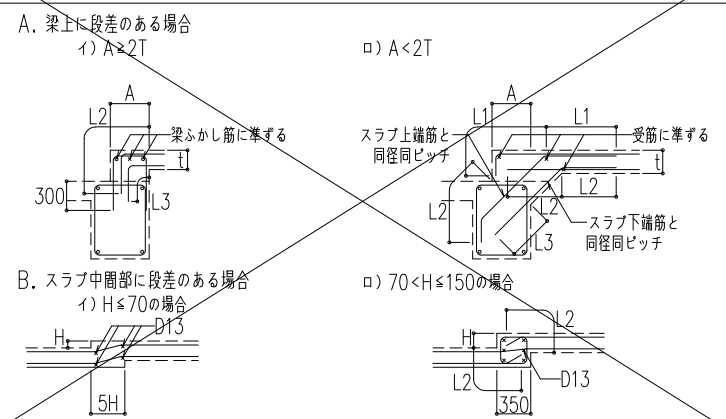
- ・スラブ符号：S5（ $t=120$ ）
・スラブ開口：700×300
・RCレーダーで鉄筋の位置およびピッチを調べ、最小の切断鉄筋本数になるように開口位置を調整すること。
・鉄筋切断面には防錆処理をすること。
・シート仕様：GM520 片面貼（スラブ表面）、長辺方向4枚、短辺方向8枚



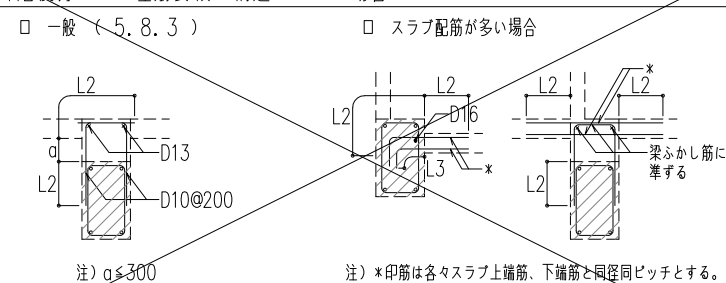
手摺壁等の配筋



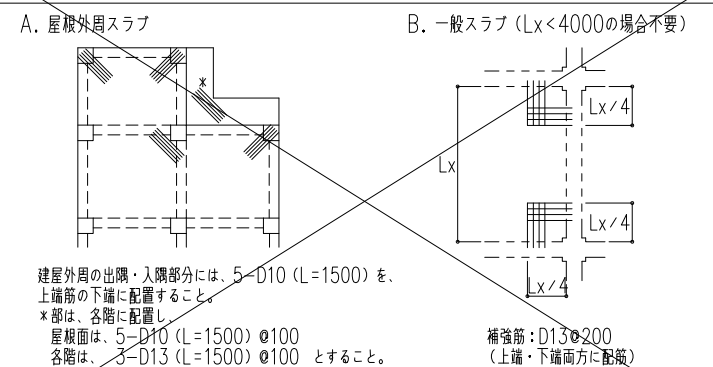
段差部



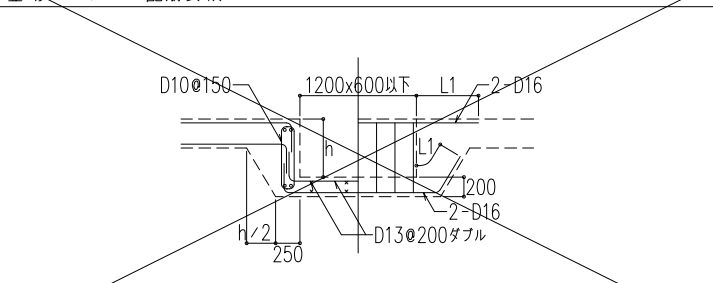
1階後打スラブ差筋要領（構造スラブの場合）



隅角部補強

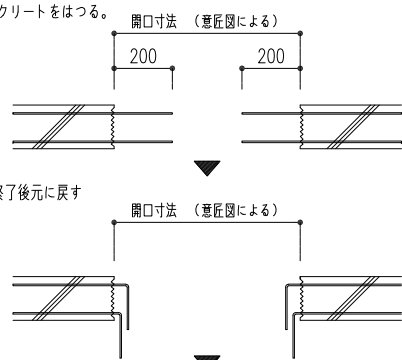


釜場（ピット）配筋要領



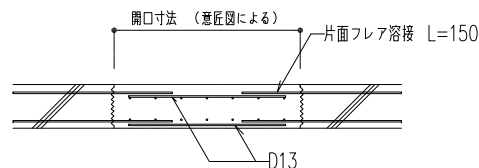
- (4) 床開口（監理者に確認の上、施工のこと）

- ・既存鉄筋を200残した上で、コンクリートをはつる。



- ・鉄筋を折り曲げ、配管搬入等作業終了後元に戻す

- ・つなぎ鉄筋溶接後、無収縮コンクリートを打設する。



株式会社 日立建設設計

禁複製 無断転載禁止

Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.

制図日 2001.09.01
改訂日 2017.04.01
文書番号 F02-004-1704

REVISION

竣工図（責任者）

作製日付 年 月 日
作製者

APPRO.

CHKO.

DWN.

DATE

2019.03.29

SCALE

(A3)

JOB.NAME

静岡県立こども病院本館リニューアル工事

TITLE

スラブ配筋標準図（改修工事）

DWG.NO.

S-02

一級建築士 第247041号 藤田 伸二

構造設計一級建築士 第5094号

押出し形成セメント板部分 開口補強

・施工前に外壁材（押出し形成セメント板）の板厚および寸法、取付状況、周辺既存部材等を調査すること。

既存梁：H-250×125×6×9

開口寸法 700×400

コンクリート立上り

既存梁：H-250×125×6×9

Δ2F 梁天端

Δ1FL

Δ2FL

1700

1200

4500

975 900 975 975 900 975 975 900 975 975 900 975

2850 2850 2850 2850

3100 2250 600

ΔRFL

700

1450 600 2750

14250

Y11

Y9

F線 ーX14通りY11～Y9間 外壁面開口補強

870

X4

F線屋上空調機械室Y10通り側 外壁面開口補強

※設備位置により調整のこと。

CFシートまとめ表

※開口符号及び開口寸法は意匠図による

開口符号		b	c				d		e		f		g		h		i	j	l	既存開口拡張	ガラリ新設部開口	ガラリ新設部開口
開口寸法		200φ	300φ				300×300		400×200		400×400		600×300		800×300		1100×450	1200×300	700×200	750×350	750×350	200×200
壁符号		W10	W10	W20a	W18	W20a	W10	W20a	W10	W10	W20a	W10	W12	W10	W12	W10	W10	W12	W12	W12	W12	W12
シート	縦方向	仕様	GM510	GM510	GM510	GM520	GM510	GM510	GM520	GM510	GM512	GM520	GM520	GM520	GM520	GM512	GM512	GM512	GM512	GM512	GM512	GM510
		枚数	2	2	2	3	2	2	2	2	2	3	2	4	3	2	4	4	4	4	4	2
	横方向	仕様	GM510	GM510	GM520	GM520	GM520	GM510	GM520	GM510	GM510	GM520	GM510	GM510	GM510	GM510	GM510	GM510	GM510	GM510	GM510	GM510
		枚数	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	4	2	2	4	4	4	4	2
	片面	片面	○	○	/	○	/	/	/	/	/	/	/	/	○	/	/	○	○	○	○	○
		両面	/	/	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	/	/	/	/	/

既存開口配置パターン

- ・W10は雑壁扱いとし、開口が複数ある場合はなるべくまとめて開口数を少なくする。
- ・1FY7～Y8間のW20aは新設壁扱いとし、1箇所の開口寸法を450X450未満の寸法とし、隣り合う開口の中心位置を幅の3倍以上確保する。
- ・鉄筋切断面には防錆処理をすること。

The diagram illustrates the configuration of existing openings (windows) across different floor levels (1F and 2F). It shows various window sizes such as 400X400, 1200X300, 400X200, 300X300, and 600X300. The windows are categorized into W10, W20a, and W20b. Dimensions for column widths (e.g., 450, 1140, 2510) and beam heights (e.g., 800, 1190) are provided. Specific notes mention that W10 is treated as a rough wall, W20a is new construction, and reinforcement cross-sections require rust prevention.

既存開口部閉塞要領

This section details the requirements for closing existing openings. It specifies the use of new reinforcement pipes (50φ) and anchor bars. Key details include:

- New set pipe (50φ) and anchor bars are used for closure.
- The distance from the top edge to the center of the opening must be at least 8d.
- The effective length of the reinforcement bar must be at least 8d.
- The connection point between the reinforcement bar and the construction anchor must be at least 1-D10 (effective length 8d or more) and cut at a 45-degree angle.
- The width of the opening must be at least 200mm.

1F -X3通り軸組図

2F -X3通り軸組図